



### ゼロの日のための願い〈その3〉

## ある事故

8月の暑いひざしの国道3号線。23才の若い運転手は、助手席に新妻を乗せて、時速60~70キロのスピードで走っていた。鹿児島県のA市から熊本市へ貨物を運搬するためである。昼食もすんで、時々妻と話しながら運転していたが、連日の仕事の疲れのためか、そろそろ眠くなってきた。眠いけれど急がねばと思って我慢して走りつづける。午後1時30分、激しい睡魔がおそいかかる。ふらっとした瞬間、車は前方左側に駐車していた大型トラックに追突、彼は頭部、手足等に重傷を負い、新婚間もない妻は即死した……。

### 提言

※ 車を運転する方々へ

常に体の調子をととのえておくことが大切です。特に、前日に無理をして疲れている場合は翌日の運転に直接ひびき、居眠りなどして思わぬ事故を起します。長距離の場合はなおさらです。十分な睡眠と疲労の回復にはいつも心がけて下さい。

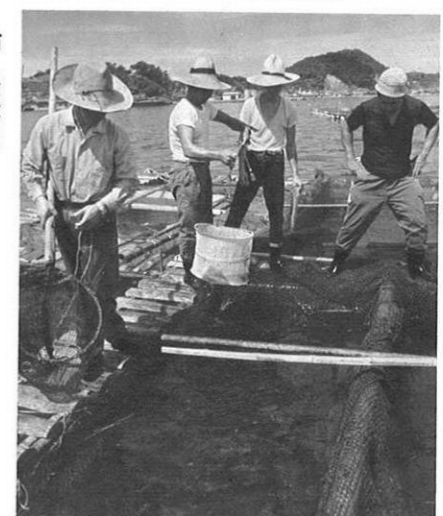
□ 交通事故をなくする熊本県民運動推進本部



上・ハマチ・タイ・フグなどの養殖研究が中心の牛深分場（写真はハマチの養殖風景）



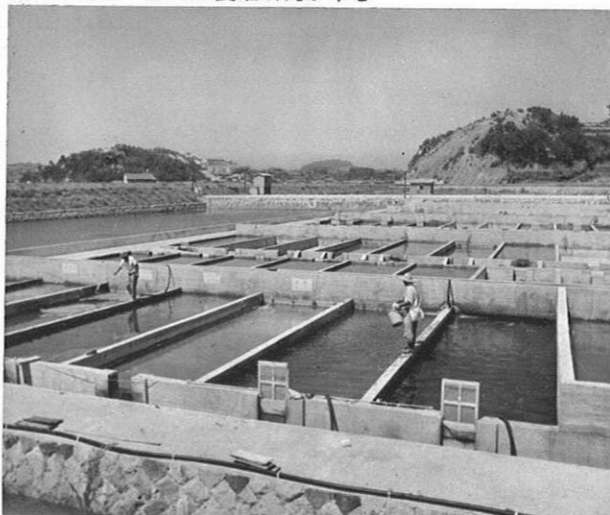
左・車エビの稚魚をみる



右・最近めざましく伸びたタイの養殖

● 種苗センターといわれる大矢野分場では車エビ・ワカメ・カニの養殖研究が中心

下・ワカメの胞子がうまくついているかどうか…



「カメラ・スケッチ」  
つくる漁業の指導センター  
熊本県水産試験場牛深・大矢野分場にて

車エビ・ワカメ・ハマチ・カニなどかん水畜養殖業が天草では年々盛んになってきている。こういった沿岸漁業の構造改善の要になっているのが県の水産試験場だ。